



環境経営レポート

対称期間：2023年 10月～2024年 9月

発行日：2024年 12月

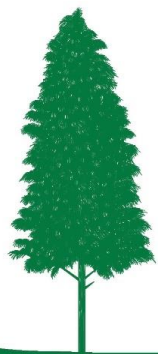


【メモリアル・ニッソー】は 葬儀の全てにお役に立ちます



株式会社メモリアル・ニッソー

本社：東京都江東区扇橋3-9-7



I.環境経営方針

「基本理念」

当社は働きやすい環境を建築しつつ葬祭サービスを提供し、お客様のニーズに応え故人の願い、ご家族の想いを形にしていくべき努力・行動を環境保全に配慮し継続的な事業活動に取り組みます。

「行動指針」

- 1.二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に努めます。
- 2.省資源で業務を行い、廃棄物の発生量を低減します。
- 3.節水を行い、水使用量を低減します。
- 4.節電を行い、電力使用量を低減します。
- 5.葬祭サービスの中で環境に配慮し、物質使用量の削減に努めます。
- 6.自社式場(四ツ木メモリアル・ホール)にて太陽光発電の導入や緑化計画を中長期に渡り計画する。
- 7.弊社が以前より取り組んでいる環境保全活動を継続していきます。
 - ・植樹(砂漠化が進む地域：モンゴルなど)
 - ・カーボンオフセット葬儀の奨励
 - ・間伐材を使用した割り箸利用の推進
- 8.環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、環境コミュニケーションを通じて公表します。
- 9.全従業員にエコアクション21環境経営システムを通達し教育を進め、意識を高めていきます。

令和4年9月30日

株式会社 メモリアル・ニッソー

代表取締役 福井 孝明



Ⅱ.事業の概要

1. 事業者名

株式会社メモリアル・ニッソー

代表取締役 福井 孝明



2. 所在地

- ・本社 : 東京都江東区扇橋3-9-7
- ・四ツ木メモリアル・ホール : 東京都葛飾区白鳥2-19-10
エルブ（生花部）
- ・墨田営業所 : 東京都墨田区江東橋4-21-6-407
（病院向けサービス拠点）

3. 環境管理責任者の連絡先

本社（統轄） 海田 敬晶 TEL03-5683-9661 FAX03-5683-9671

4. 事業所の規模

名 称	従業員数	延 べ 面 積	備 考
本社	9名	36㎡	
エルブ	9名	965㎡	生花部
四ツ木メモリアル・ホール	2名		式場
病院向けサービス拠点（4か所）	8名	56㎡	（常設）墨田営業所

5. 事業内容

葬祭業



Ⅲ.実地体制図

環境経営実施体制組織図



代表取締役

福井 孝明

代表取締役

- 1.環境方針を定め、環境管理責任者を任命する。当該責任者には現在の責務に関係なく環境経営システムを運用・維持管理する責任と権限を明示する。
- 2.環境経営システムの実地・運用のための経営諸資源を準備する。
- 3.環境目標・実地計画の承認
- 4.環境マニュアル及び手順書の制定・改定の承認
- 5.内部監査員・環境管理委員の任命
- 6.経営における課題とチャンスの明確化

環境管理責任者

海田 敬晶

環境管理責任者

- 1.環境管理委員会を運営・維持管理する責任として、環境経営システムが全ての部署で確実に実行・維持されるための必要な活動の管理と推進をする。
- 2.代表取締役に環境経営システムの実績の報告及び見直し記録の報告。

環境管理委員会

湯川 正記
鈴木 八重子

- 1.代表取締役を委員長とし、環境管理責任者及び代表取締役から選任された委員2名で構成し環境方針・環境目標・実施計画・教育訓練計画等会社の環境に関する事項の立案及び運用状況の審議等を月1回開催する。
- 2.検討内容は環境管理委員会議事録に記録する。

統括管理部

- 1.日常の作業において環境方針に基づき、環境管理システム規格類及び関連する法規制とその他の要求事項を遵守する。

葬祭部

・本社
・病院営業所

四ツ木

メモリアル・ホール

生花部



Ⅳ.環境経営目標とその実績

1、当社の2023年10月～2024年9月の環境経営目標及び

環境経営計画を下表に示す。環境経営計画は次年度も同様とする。



環境経営目標	環境経営計画
電力に由来する炭酸ガスの発生量を 売上高当り60(kg/百万円)以下にする	◎ 不必要な照明を停止する。
	◎ 不必要なエアコンを停止する。
	◎ 業務終了時の電源を遮断する。
	具体的には各従業員が電気使用量削減手順書(EA10-01)を遵守する。
	責任者は全体としての活動状況を監視、管理する。
ガソリンに由来する炭酸ガスの発生量を 売上高当り110(kg/百万円)以下にする	◎ 走行ルート of 適正化を徹底する。
	◎ 走行距離の記録・管理をする。
	◎ 車検を遵守する。
	◎ 走行距離に基づく保全・整備をする。
	具体的には各従業員が社用車運用手順書(EA10-02)を遵守する。 責任者は全体としての活動状況を監視、管理する。
全体の炭酸ガス発生量を 売上高当り200(kg/百万円)以下にする	各従業員は電気使用量削減手順書(EA10-01)及び 社用車運用手順書(EA10-02)を遵守しながら、日常の本来業務を実施する。
	責任者は定期的に上記手順書の運用状況を監視・測定し運用上の 問題がある時は環境管理責任者と協議し是正処置を取る。
水使用量を 売上高当り1.6(m3/百万円)以下にする	◎ トイレ・キッチン等で節水に努める。
	◎ 流しっぱなし等の過剰の水道水を使用しない。
	具体的には各従業員が上水使用量削減手順書(EA10-04)を遵守する。
	責任者は全体としての活動状況を監視、管理する。
廃棄物排出量を 売上高当り39(kg/百万円)以下にする	◎ 廃棄物は所定の方法で計量し、分別排出する。
	◎ 3R(レデュース・リユース・リサイクル)により廃棄物排出量を削減する。
	具体的には各従業員が一般廃棄物処理手順書(EA10-06)を遵守する。
	責任者は全体としての活動状況を監視、管理する。
グリーン購入の推進	◎ 極力エコマーク製品・グリーンマーク製品を優先購入する。
	◎ 省エネ型製品を優先購入する。
	具体的には全社的にグリーン調達手順書(EA10-14)に従って活動する。
ドライアイス使用量削減の推進	◎ ドライアイスの使用量を抑制する。
	◎ 保冷库の有効活用する。
	具体的には全社的にドライアイス使用量削減手順書(EA10-03)に従って 活動する。



2.環境経営目標の実績と評価

(1)2023年10月～2024年9月

月	電力	ガソリン	都市ガス	水	一般廃棄物	産業廃棄物	売上
	kwh	L	Nm ³	m ³	kg	kg	(百万円)
運用期間(1年)	96335	33055	12289	1114	25568	143	783.6
月平均	8027.9	2754.6	1024.1	92.8	2130.7	11.9	65.3
換算炭酸ガス	45084.8	76742.5	25910.5				
(kg/月)	3757	6395.2	2159.2				

炭酸ガス年間排出量：147737.8kg-CO₂

電力排出係数は、東京電力エナジーパートナー(株)

2019年の実排出係数 0.468(kg-CO₂/kwh)を使用した。

(2)2023年10月～2024年9月 運用期間の評価

目 標		実 績	評 価
電力由来の炭酸ガス	60(kg/百万円)	57.4(kg/百万円)	○
ガソリン由来の炭酸ガス	110(kg/百万円)	97.9(kg/百万円)	○
全社の炭酸ガス	200(kg/百万円)	188.5(kg/百万円)	○
水使用量	1.6(m ³ /百万円)	1.42(m ³ /百万円)	○
一般廃棄物	39(kg/百万円)	32.6(kg/百万円)	○
グリーン購入の推進	IV.1参照	グリーン調達手順書 を作成し、実行した	○
ドライアイス使用量を削減する	IV.1参照	ドライアイス使用量削減 手順書を作成し、実行した	○

V.中長期の環境経営目標

2023.10～2024.09	2024.10～2025.09	2025.10～2026.09
電力に由来する炭酸ガス発生量を売上高当たり 60(kg/百万円)以下にする	同左 59(kg/百万円)以下にする	同左 58(kg/百万円)以下にする
ガソリンに由来する炭酸ガス発生量を売上高当たり 110(kg/百万円)以下にする	同左 109(kg/百万円)以下にする	同左 108(kg/百万円)以下にする
炭酸ガス発生量を売上高当たり 200(kg/百万円)以下にする	同左 199(kg/百万円)以下にする	同左 198(kg/百万円)以下にする
水使用量を売上高当たり 1.6(m3/百万円) 以下にする	同左 1.5(m3/百万円) 以下にする	同左 1.4(m3/百万円) 以下にする
廃棄物排出量を売上高当たり 39(kg/百万円)以下にする	同左 38(kg/百万円)以下にする	同左 37(kg/百万円)以下にする
グリーン(エコ)購入の推進する	同左	同左
ドライアイス使用量を削減する	同左	同左

VI.環境活動の取り組み結果の評価・次年度の取り組み計画

対象期間：2023年10月～2024年09月

EA21環境経営システムを1年間運用した。その期間の環境活動における取り組み結果の評価を下記に示す

電力使用量の削減	新施設稼働に慣れ、目標値をクリアした。社員の節電への意識は変わらず高く喜ばしい限りだが、慢心しない為に今後も目標値クリアを目指すよう指導し、これからの活動を見守り改善点などを探していきたい。
ガソリン使用量の削減	目標値を大幅にクリアしたが、業務内容で大きく変動する部分なので今後も運転方法意識する様指導していく。なるべくまとめて少ない回数で運転する等の工夫は定着している。社用車運転手順書を計測していく必要がある。
全社の炭酸ガスの削減	目標値をクリアできた。新施設稼働に慣れたのもあるが、ガソリン使用量の削減が一番大きく反映されている為まだまだ油断は出来ない状況に見える。今後も削減できる部分を見極め、実行していく必要がある。
水使用量の削減	日常生活用水の節水は浸透し、無駄な使用は見られない。水は電気やガスよりも使用感が見えやすい為社員の意識は高い様に見える。今後も削減する意識や行動を続けていく必要がある。
廃棄物排出量の削減	廃棄物の排出は分別、計量、記録、処理業者への引き渡しまでは手順通りに実施されている。 社員の意識は高く目標達成に至った。今後を見つつ継続していく。
グリーン(エコ)購入の推進	営業所使用の家電製品などの買い替え計画を考案、今後5年以内に省エネ製品を優先して購入する計画を立て、実行している。
化学物質使用量の削減 (ドライアイス)	現状ドライアイスの使用に関しては原料となりつつあり、保存方法含め最適な状況である。 使用に関しても時節柄消費量を抑える傾向にあることが言える。

VII.環境関連法規への違反・訴訟の有無

1. 当社に関する法規

- ①廃棄物処理法
- ②消防法
- ③道路交通法
- ④道路運送車両法
- ⑤自動車リサイクル法
- ⑥家電リサイクル法
- ⑦フロン排出抑制法



2. 違反・訴訟等

過去3年間に一度も上記の法規に関する違反・訴訟はありません。

VIII.代表者による全体評価と見直しの結果

当社は従来から環境への配慮や社員への教育などを実施してきたが、環境保全能力の更なる向上と社会貢献のため、

エコアクション21による環境経営システムを構築し、2020年12月から本システムの運用を始めた。

環境経営システムによる活動はかなり定着しているように思う。社員同士の声掛けや実行等も継続してかなり行われている。

今回、目標をすべて達成できた事は評価に値する。社員の意識が強くなっているのも結果に繋がった。

今後も大小問わず削減できる箇所を見つけ、実行出来る様強く意識して見ていきたい。社員の環境に対する取組や

意識はエコアクションを始めた事により強くなり、環境にも社会にも良い結果に繋がっていると感じる。現在も

継続して出来ることから改善している点や、一時的な細かい部分でも率先して削減しようとする姿勢は評価に

値する。今後とも環境経営目標項目ごとの進捗を監視し、改善部分を指摘することにより社員一人一人が継続して

環境マインドを持ち、日常業務を遂行することが重要である。

以上



バケツとタオルを使用しての洗車



非接触検温器・非接触アルコールの設置



各主要出入口



応接室



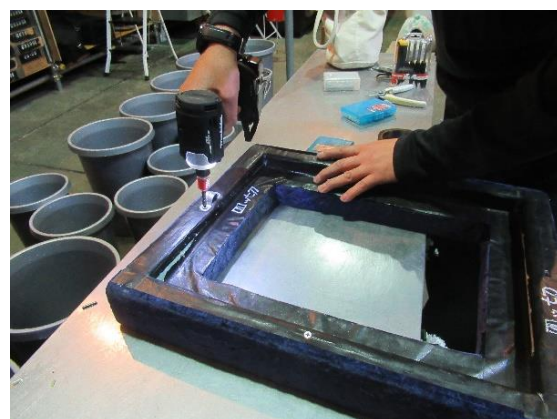
こまめなアルコール消毒の徹底



空気清浄機の設置



リペア・リユース



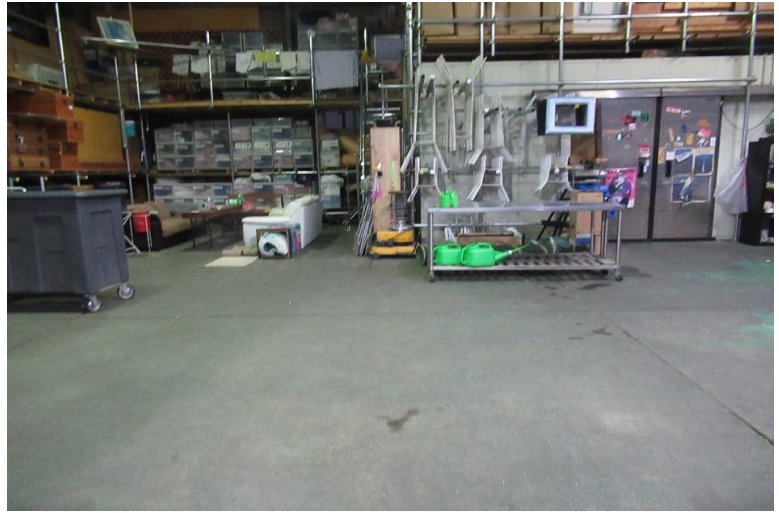
タオルを洗濯し繰り返し利用



ダンボールの回収



作業場の清掃



生花祭壇(例)



四ツ木メモリアル・ホール



ホール内に植物を多く取り入れ緑化推進
しています。

空気の入れ替えやアルコール消毒を
こまめに実行し、清潔保持・感染予防を
心がけております。



家族葬や一般葬に最適な式場です。
最大80席の着席やご宿泊にも対応しております。



バイオマスアメニティーの取入れ

バイオマスとは、生物資源(bio)の量(mass)を表す概念で

「再生可能な、生物由来の有機性資源で化石資源を取り除いたもの」です。

太陽エネルギーを使った水と二酸化炭素から生物が光合成によって生成した有機物であり、

植物は太陽と水と二酸化炭素があれば、持続的にバイオマスを生み出す事ができます。

このようなバイオマスを燃焼させた際に放出される二酸化炭素は、化石資源を燃焼させて出る二酸化炭素

とは異なり生物の成長過程で光合成により大気中から吸収した二酸化炭素であるため、バイオマスは

大気中で新たに二酸化炭素を増加させない「カーボンニュートラル」な資源といわれています。

ボディタオル イチオシ ポイント

- 01 地球に優しいエコ商品**
人々の食料共有に影響を及ぼさない安全で自然なバイオマス原料使用
- 02 バイオマスマーク認定商品**
「一般社団法人日本有機資源協会」に準じた環境保全に配慮した商品
- 03 シリーズで揃えられる**
本商品は、多彩なラインナップを誇るダイトの「ハスシリーズ」です。

ボディタオル 肌に刺激を与えない、ソフトな素材感

包装

コンスターチ配合の包装は、少し光沢があり、品質の良さを感じさせます。

横:約15cm
縦:約11.5cm

環境に配慮したアメニティグッズ

BIOMASS SERIES

バイオマスシリーズ

プラスチックの原料となる化石資源(石油・天然ガス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用した、環境に優しいアメニティシリーズです。

バイオマスマークとは?

生物由来の資源(バイオマス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用し、環境に優しいアメニティシリーズです。

BIOMASS MARK

環境に配慮したアメニティグッズ

BIOMASS SERIES

バイオマスシリーズ

プラスチックの原料となる化石資源(石油・天然ガス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用した、環境に優しいアメニティシリーズです。

バイオマスマークとは?

生物由来の資源(バイオマス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用し、環境に優しいアメニティシリーズです。

BIOMASS MARK

環境に配慮したアメニティグッズ

BIOMASS SERIES

バイオマスシリーズ

プラスチックの原料となる化石資源(石油・天然ガス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用した、環境に優しいアメニティシリーズです。

バイオマスマークとは?

生物由来の資源(バイオマス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用し、環境に優しいアメニティシリーズです。

BIOMASS MARK

環境に配慮したアメニティグッズ

BIOMASS SERIES

バイオマスシリーズ

プラスチックの原料となる化石資源(石油・天然ガス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用した、環境に優しいアメニティシリーズです。

バイオマスマークとは?

生物由来の資源(バイオマス)を削減し、天然由来のバイオマスを活用し、環境に優しいアメニティシリーズです。

BIOMASS MARK



アス・エコシリーズの特長

- エコフレンドリー**
エネルギーの消費量と温室効果ガスの排出量を低減するとともに、農業廃棄物を有効活用することで地域での環境改善に貢献します。
- デザイン性**
通常のプラスチックでは表現の難しいオーガニックな質感を演出しております。
- リサイクル**
廃棄する際は通常のプラスチックと同様に原料のリサイクルが可能です。



I'm ECO

パッケージ裏に使用素材を記載しております。

※本製品はVDA認定バイオマス原料を使用

成分: 紙 40%, 日本製再生紙 60%

Content: Paper 40%, recycled material 60%

素材: サトウキビ茎由来素材 30%, プラスチック 70%

Package: Sugarcane stem/paper 30%, plastic 70%

I'm ECO

パッケージ裏に使用素材を記載しております。

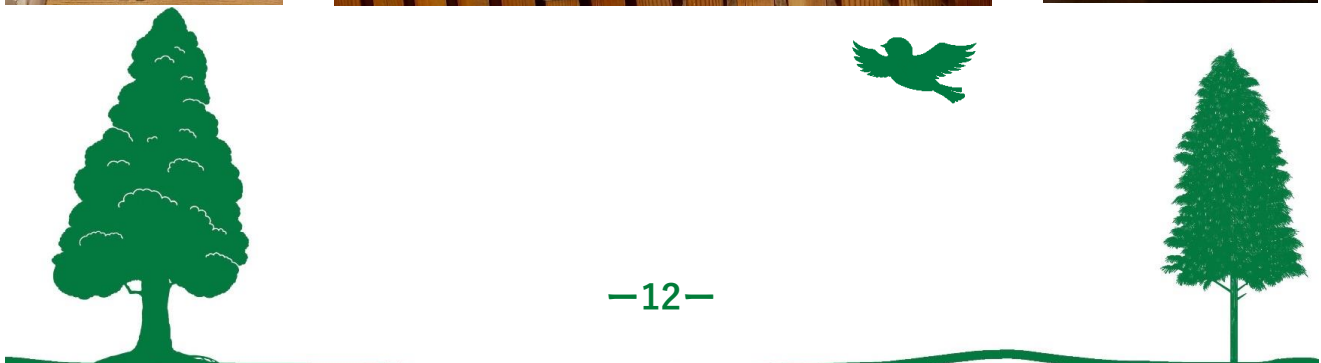
※本製品はVDA認定バイオマス原料を使用

成分: 紙 40%, 日本製再生紙 60%

Content: Paper 40%, recycled material 60%

素材: サトウキビ茎由来素材 30%, プラスチック 70%

Package: Sugarcane stem/paper 30%, plastic 70%





プライバシーマークの取得

一般財団法人 日本情報経済社会推進協会認定
弊社では個人情報の安全管理が図られる様、
万全を期して対応いたしております。



セーブ・ザ・チルドレンへの支援



Save the Children
JAPAN

毎月一定額の寄付と会社で募金箱を設置し支援を行っております。
子どもたちが直面している様々な問題解決の為に、ご葬儀の収益の一部を
セーブ・ザ・チルドレンを通じて寄付募金活動に力を注いでおります。



復興支援

東日本大震災により被害のあった宮城県内にある
水産加工会社より、復興支援の一環として
ささやかながら積極的に商品を仕入れております。

日本私立学校復興共済事業団への寄付

学校等が自然災害により被災し、通常の学校生活が
送れなくなっています。
少しでも早く復旧し安心して授業を受けられるように
ささやかながら寄付活動を行っております。





Fan To Shareでの宣言

環境省が推進している低炭素社会実現に向けた気候変動キャンペーン「Fan To Share」に賛同しています。Fan To Shareとは「最新の知恵を皆で楽しくシェアしながら、低炭素社会を作っていこうよ!」という合言葉です。

目標に向けて我慢しながら必死に頑張るのではなく、毎日を楽しく暮らしながら、企業、団体、地域社会、国民一人ひとりが連携し、豊かな低炭素社会を作るための、情報・技術・知恵を共有し、日本発で世界に広げていこうという取り組みです。

植樹(CO2の削減を目指して)

現在最も砂漠化の著しいモンゴルに植樹をする等、未来の地球環境を育てるために積極的に取り組んでおります。

※2019年までにモンゴルやインドネシア等に約50,000本の植樹を達成致しました。



植樹活動



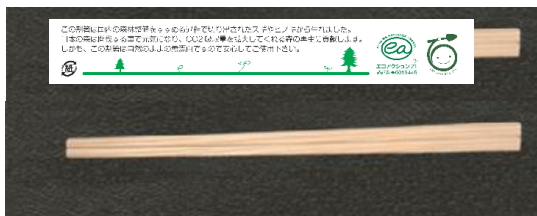
植樹活動による感謝状



カーボンオフセット葬儀

人生最後の旅立ち、その瞬間どうしてもCO2を排出しています。弊社ではエコ棺の使用等による200kgのカーボンオフセット葬儀を行っております。カーボンオフセット葬儀とは、排出されたCO2を森づくりによって埋め合わせを行うことです。豊かな森とキレイな空気を未来の子供たちに残すために・・・





間伐材での割り箸を使用

国内の森林整備を進める過程で切り出されたスギやヒノキの間伐材から生まれました。

日本の森は間伐する事で元気になり、

CO2吸収量を増大してくれる森の再生に貢献します。

また、自然のままの無漂白ですので安心してご使用いただけます。

障がい者通所訓練施設への支援

私たちは健康で働けることを当たり前のように思ってしまいます。世の中には、障害を持って生まれてきた人たちも数多くいます。

障がい者の働く場所もまだ少ないのが現状です。そこで働く人たちの為に少しでも役に立てればと思い、メッセージカードや箸袋の作成作業を委託し、ささやかではありますがご支援をさせて頂いております。



お別れの言葉

このメッセージカード「お別れの言葉」はご家族・知人・友人様たちのメッセージを供えて故人様のお棺の中へ納めさせて頂いております。

